



北海道



JR東日本



JR北海道

2025 年 7 月 25 日
青 森 県
北海道渡島総合振興局
東日本旅客鉄道株式会社盛岡支社
東日本旅客鉄道株式会社秋田支社
北海道旅客鉄道株式会社

～「青森県・函館観光キャンペーン」～

カウントダウンボード設置と

東北新幹線全線開業 15 周年・北海道新幹線開業 10 周年ロゴマーク制作について

2025 年 12 月から 2026 年 3 月までの間、青森県・北海道道南エリアでは「青森県・函館観光キャンペーン」を開催します。キャンペーン開催に先立ち、2025 年 7 月 31 日（木）より、カウントダウンボードを青森駅・青森県観光物産館 アスパム・函館駅・金森赤レンガ倉庫の 4 箇所に設置します。

また、キャンペーン開催期間中に東北新幹線全線開業 15 周年と北海道新幹線開業 10 周年を迎えるにあたり、ロゴマークを制作しました。

引き続き、青森県・北海道道南エリアの魅力を PR し「青森県・函館観光キャンペーン」の機運醸成に努めます。

1. 「青森県・函館観光キャンペーン」カウントダウンボードについて

キャンペーンエリアである青森県側、北海道道南エリア側において、駅や観光施設にカウントダウンボードを設置することによって、地元の皆さまのほか、夏や秋に観光・ビジネスで訪れる皆さまに「青森県・函館観光キャンペーン」を知っていただくきっかけとし、機運醸成や本エリアへの再訪を促すことを目的に、以下の箇所へカウントダウンボードを設置します。

(1) 設置期間

2025 年 7 月 31 日（木）10 時から 2026 年 3 月 31 日（火）まで

(2) 「青森県・函館観光キャンペーン」期間

2025 年 12 月 1 日（月）から 2026 年 3 月 31 日（火）まで

(3) 設置箇所

エリア	設置箇所	設置場所
青森エリア	青森駅	青森駅改札口前
	青森県観光物産館 アスパム	1 階インフォメーション前
北海道道南 エリア	函館駅	函館駅改札口前
	金森赤レンガ倉庫	金森洋物館内「石ころ館」前

(4) サイズ

縦 1,500 mm × 横 900 mm × 奥行 750 mm



※画像はイメージです。

2. 東北新幹線全線開業 15 周年・北海道新幹線開業 10 周年ロゴマークについて

「青森県・函館観光キャンペーン」が開催される期間中に、東北新幹線は 2025 年 12 月 4 日に全線開業 15 周年、また北海道新幹線は 2026 年 3 月 26 日に開業 10 周年を迎えます。その記念となる節目を P R する目的として、ロゴマークを作成しました。

ロゴマークのデザインは青森県と北海道を繋ぐ新幹線の躍動感をイメージし、青函トンネルを通過する様子と数字の中に青函の地図シルエットを入れることで両エリアの繋がりを彷彿とさせるイメージとしています。

今後、ロゴマークは「青森県・函館観光キャンペーン」の各種宣伝物に掲載し、東北・北海道観光を盛り上げると同時に新幹線が節目の年を迎える祝福ムードの醸成を図ります。



※画像はイメージです。

【報道機関お問合せ先】

東日本旅客鉄道(株) 盛岡支社 青森支店 広報	TEL017-734-6732
秋田支社 企画総務部 総務・広報・勤労ユニット	TEL018-832-2220
北海道旅客鉄道(株) 広報部	TEL011-501-1748
青森県 観光交流推進部 誘客交流課	TEL017-734-9384
北海道 渡島総合振興局 産業振興部商工労働観光課	TEL0138-47-9461

青森駅カウントダウンボード除幕式 取材申込書

2025 年 7 月 日

青森県・北海道道南エリアについて 2025 年 12 月から 2026 年 3 月までを JR 東日本が「重点共創エリア」へ指定し、2025 年 12 月 1 日より青森県や北海道渡島総合振興局、JR 北海道と共に「青森県・函館観光キャンペーン」を開催します。なお、2025 年 7 月 31 日が開催の 123 日前に当たり、より一層、機運を盛り上げるべく、青森駅にてカウントダウンボードの除幕式を実施いたします。

日 時：2025 年 7 月 31 日（木）10 時 10 分 ～ 10 時 30 分頃 集合時間：10 時 00 分 集合場所：青森駅改札口前 取材内容：代表者コメント、カウントダウンボード除幕シーンの撮影	
貴社名・所属部署名（支局名）	・
代表者のご芳名	
参加人数（技術スタッフ含む）	名
代表者のご連絡先	会社電話番号：
	携帯電話番号：

7 月 29 日（火）までに JR 東日本青森支店広報に FAX（017-776-1264）にてお申し込みください。

【ご取材にあたっての注意事項】

- ・輸送障害等が発生した際は、スケジュールが変更や中止となる場合がございます。
- ・自社腕章のご着用をお願いします。
- ・お客さまの流動に注意してご取材をお願いいたします。

《参考》重点共創エリア

地域と JR 東日本グループが一体となって、観光資源や文化など地域の魅力について更なる磨き上げや発掘を行い、JR 東日本グループが持つ駅などの施設やサービス、ネットワークなどを有効に活用しながら、国内のみならずインバウンドまでを視野に入れた情報発信を行うことで、持続可能な地域づくりを推進し交流人口や関係人口の拡大を目指していく取り組みです。